

# バルセロナ港とバレンシア港の 港湾サービス高度化戦略

横浜港埠頭株式会社  
山本 真史

# 目次

---

1

概要

2

バルセロナ港の戦略

3

バレンシア港の戦略

4

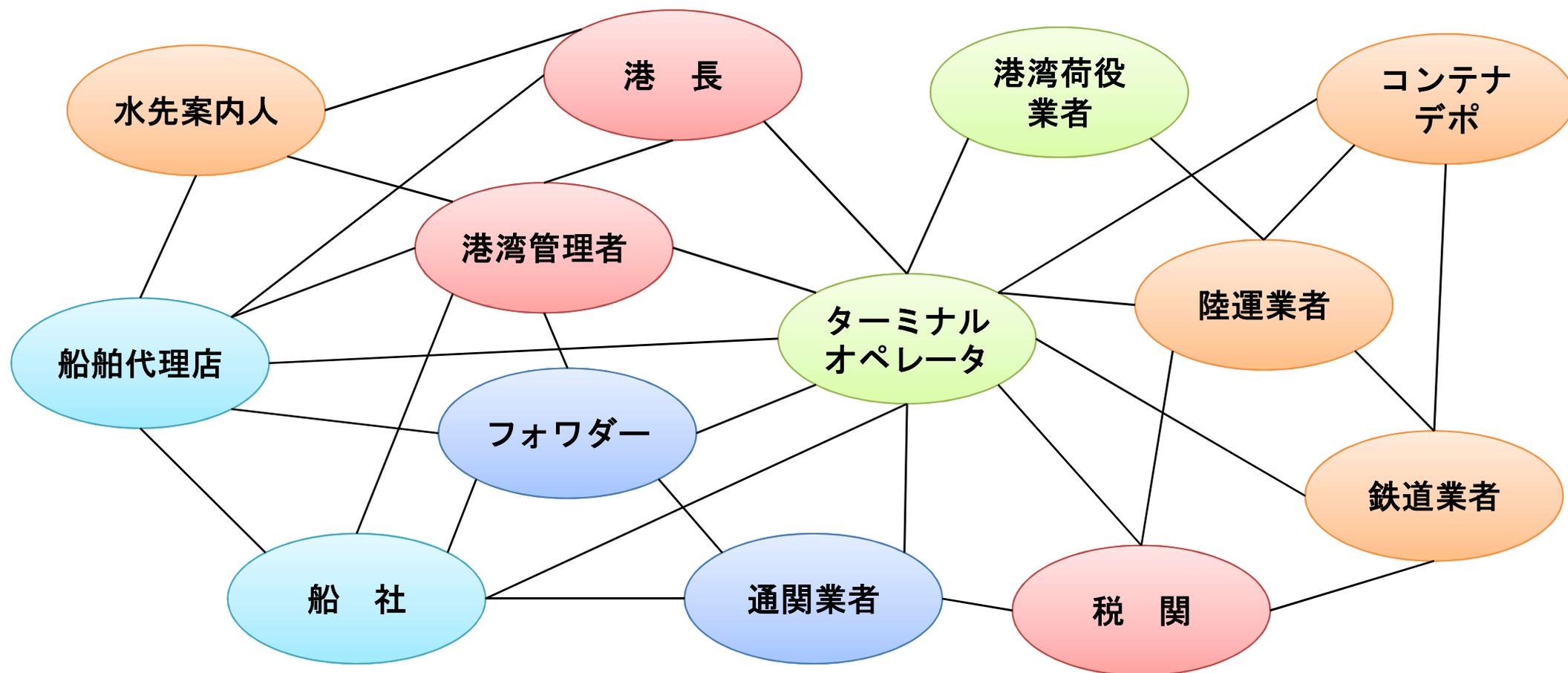
考察

## スペインの港湾サービス高度化戦略

品質保証システム

港湾情報システム

- ロジスティクス等のハード的戦略と対をなすソフト的戦略
- 1990年代から各プロジェクト始動（EU経済統合の影響）
- 港湾社会全体の連携と協力が不可欠



○サプライチェーンを形成する行政機関及び企業の共同体

○「グループ」ではなく「チーム」

## 【品質保証システム】

- 荷主等に入出港日時や期間等を**コミットメント(公約)**し、これを品質として保証
- 貨物を紛失や破損等することなく、可能な限り短期間で遅延なく輸送することが目的
- PDCAサイクルによるブラッシュアップ ⇒ サービス水準の向上
- サプライチェーン全体の効率化・最適化**
- ブランド化による他港と差別化

## 【港湾情報システム (Port Community System)】

○ポートコミュニティ間の手続きや情報を処理、共有するシステム

○主要な目的

- ・行政手続きのシングルウィンドウ化
- ・作業指示や依頼等のペーパーレス化、自動化
- ・ポートコミュニティのプラットフォーム
- ・リアルタイムの情報共有
- ・情報の透明性

⇒ サプライチェーン全体の効率化・最適化

○EDI(電子データ交換)により既存のシステムと容易に連携

### バルセロナ港の品質保証システム「Efficiency Network」

○2010年から開始（当初は12社のみ） ⇒ 2018年9月時点で90社

#### ○サービスの要点

- ・予定通りの船舶の着離岸
- ・安全に貨物を配送
- ・予定時間内に貨物を船舶に積卸
- ・遅延なく貨物を検査  
（通関、国境衛生管理）

○**コミットメント未達時は顧客に賠償金**  
（2017年は78件）

○参加は**有料**（400or3,000€/半年）



### 「Efficiency Network」の保証内容(コミットメント)

- ①オペレーションの信頼性(定時性)
  - ・2時間以内のコンテナ貨物の引取/引渡
  - ・17営業時間以内の通関現物検査
  - ・25営業時間以内のBIS(国境検査サービス)など
- ②情報の透明性
  - ・貨物の輸出入に関するオペレーション、日付、事故等の情報提供
- ③貨物の安全性
  - ・取扱中/保管中のすべての貨物を紛失や破損等しないことを保証

### バルセロナ港のPCS

- 1999年にPABとPCの合併会社である「**PORTIC**」を設立  
⇒ システム開発
- PABが有償でPORTICにPCSの運営権を付与  
⇒ **PORTICがPCSを管理・運営**
- PCSの使用は**有料**  
⇒ **独立採算**(一部PABの補填)
- 導入支援・操作支援サービス

### 利用実績(2017年)

項目	件数
利用会社数	550
ユーザー登録数	5,000
コンテナ処理数	200万
問合せ件数	20,000
メッセージ処理	2,500万
Web検索数	200万

### バルセロナ港PCSのアプリケーション

#### (輸入用)

- ① 【unloading ship (荷卸)】スケジュール、荷役作業依頼、事前申告等
- ② 【payment (支払)】電子決済、インボイス等
- ③ 【customs (通関)】輸入許可等
- ④ 【transport (陸上輸送)】コンテナ配送書、輸送依頼等

#### (輸出用)

- ① 【booking (予約)】スケジュール、予約、船積指示等
- ② 【transport (陸上輸送)】コンテナ集荷書、輸送確認等
- ③ 【customs (通関)】通関申告等
- ④ 【unloading ship (船積)】荷役作業依頼、積荷目録等

### バレンシア港の品質保証システム「Marca de Garantia」

- PAVと地方政府出資の「Marca de Garantia基金」により運用開始
  - ⇒ 2010年に経済危機により基金を清算し、**PAVが直接管理運営**
  - ⇒ 2018年9月時点で150社

- サービスの要点  
(概ねバルセロナ港と同様)
- コミットメント未達時は顧客が原因究明の調査請求できる**



### 「Marca de Garantia」の保証内容(コミットメント)

- ① 国境衛生管理施設(IFCSM)における商品検査保証  
⇒ 45分以内のコンテナ検査
- ② 船舶の料金保証  
⇒ 予定通りの船舶着岸、入港後3時間以内の船舶の係留
- ③ 船舶への船用品供給保証  
⇒ 遅延なく船舶へ船用品を供給
- ④ 商品の安全性の保証  
⇒ 紛失、破損等することなくコンテナを配送
- ⑤ 船荷証券の合理化保証  
⇒ 出港から12時間以内の船荷証券の発行
- ⑥ コンテナフロー保証  
⇒ 20営業時間内のコンテナの配送及び船積

### バレンシア港のPCS

- 1999年より運用開始
- PAVの直営  
(技術的業務は子会社である「Infoport Valencia」に委託)
- PCSの使用は**有料**  
(業種や利用頻度により異なるが45～2,500€/月)

### 利用実績(2017年)

項目	件数
利用会社数	660
ユーザー登録数	4,000
コンテナ処理数	478万
問合せ件数	不明
メッセージ処理	4,400万
Web検索数	不明

### バレンシア港PCSのアプリケーション

- ①【入出港】船舶入出港に関する情報の入手等
- ②【予約】ブッキング等
- ③【船積依頼】積荷目録、船荷証券等
- ④【入港管理】入港届、乗客通知、乗組員通知、廃棄物通知等
- ⑤【危険物管理】危険物持込許可申請等
- ⑥【積卸指示】積卸リスト、通関申告情報等
- ⑦【道路輸送管理】輸送依頼、貨物受取、配送依頼、入構依頼等
- ⑧【鉄道輸送管理】輸送依頼、貨物受取、配送依頼、入構依頼等
- ⑨【輸出入申告】通関申告等
- ⑩【税関情報】通関に関する情報の入手等
- ⑪【貨物追跡】貨物の現在の状態、実績、処理された文書情報等
- ⑫【機器の状態】コンテナや車両等の状態

# 両港の戦略の比較

		バルセロナ港	バレンシア港
品質保証	コミットメント	①オペレーションの定時性、②貨物の安全性、③情報の透明性の三本柱で大きな違いはない	
	ペナルティ	顧客に賠償金を支払う	顧客に調査請求権を保証
	参加メンバー	船社も参加	船社は不参加
PCS	アプリ	一連の業務や手続きが網羅されており大きな違いはない	
	拡張性	EDIに対応しており既存のシステムと容易に連携	
	運営手法	PORTICに運営権	PAVの直営（一部は委託）

○バルセロナ港とバレンシア港ともにスペイン国家港湾庁の戦略方針に従っており、大きな相違点はない

○ただし、その中でも工夫を凝らし、他港との差別化を図っている

## サプライチェーン時代を勝ち抜くためには…

- **荷主(最終顧客)**は**サプライチェーンの効率化・最適化**を求めている
- ロジスティクスパーク、背後圏アクセス回廊、インランドデポなどのハード戦略だけでなく**ソフト面の港湾サービス高度化戦略**も不可欠
- サービス提供者はポートコミュニティの各々だが、サプライチェーン全体の管理者は存在しない(**個々の最適ではなく全体最適**が重要)
- スペインではPA(港湾管理者)がリーダーシップを発揮し、当該戦略を通してポートコミュニティを一つにまとめている
- **ポートコミュニティのマインド・セット**が成功の鍵